

上山佐地区アンケート 調査結果報告書【在住者版】

平成24年10月

上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議

問い合わせ先

上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議

〒692-0413 島根県安来市広瀬町上山佐 654-5

電話：0854-35-0129

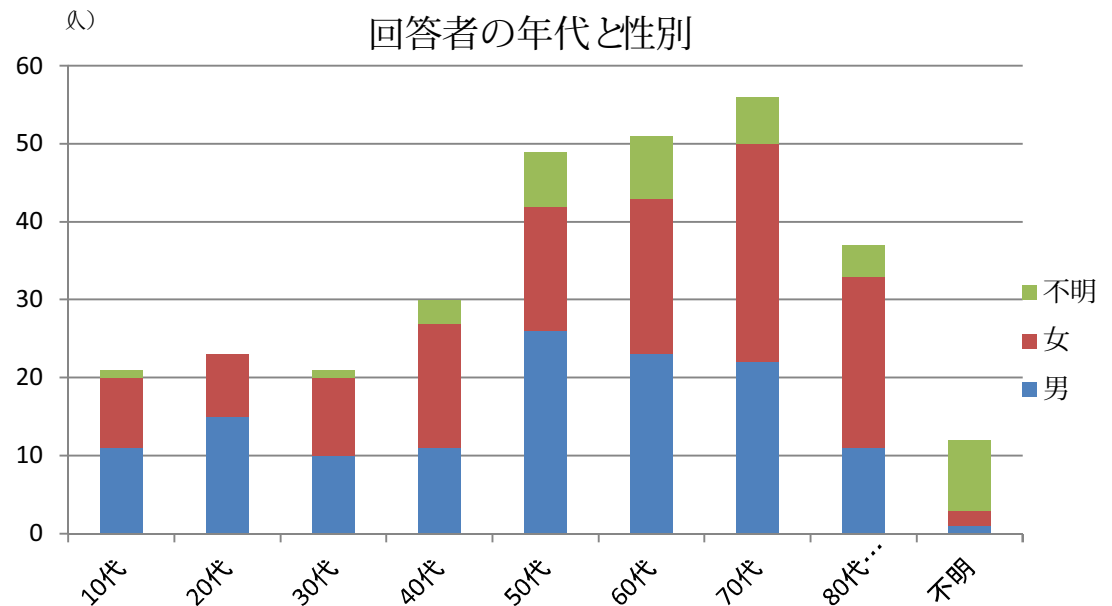
メール yamasa-s@city.yasugi.shimane.jp

アンケート調査の概要

- ①調査の目的 :コミュニティ再生につながる具体的な活動を実施するための基礎資料とする。
 - 地域課題の把握及びその解決に向けた意向を調査する。
 - 上山佐地区の将来像 (ビジョン)を探ること。
- ②調査の時期 :平成24年 7月配布／平成24年 8月回収
- ③調査の対象 :上山佐地区住民 (中学生以上)
- ④調査の項目 :「回答者の属性」「暮らし」「子育て」「福祉」「農林業」「地域づくり」の6つの項目
- ⑤回答者の数 :300通回収／380通配布 (回収率78.9 %)

回答者の年代と性別

- 70代、60代、50代の順で回答が多い結果となりました。20代以下からも沢山の回答を頂きました。
- 男性は60～70代が全体の34%を占めています。一方、女性は60～70代で全体の36%を占めます。



調査結果の見方

- 年代・性別が不明な回答についても、除外せずに分析対象としました。
- グラフ中の選択肢の表現は省略している場合があります。

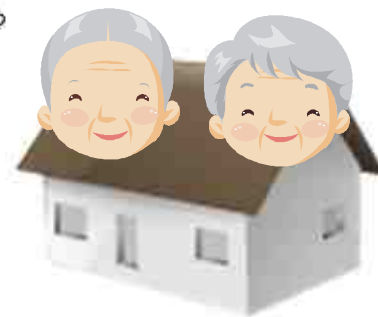
上山佐地区の特徴

問2 あなたの世帯は何人ですか？

- 平均世帯人数は4.7人と高く、10代と30代で6.4人となっています。
- 多世代同居されている方が多いです。
- 年齢を重ねるにつれて、独居世帯や二人世帯の割合が高くなる傾向にあります。
- 80代以上の方に独居世帯の割合が高いです。



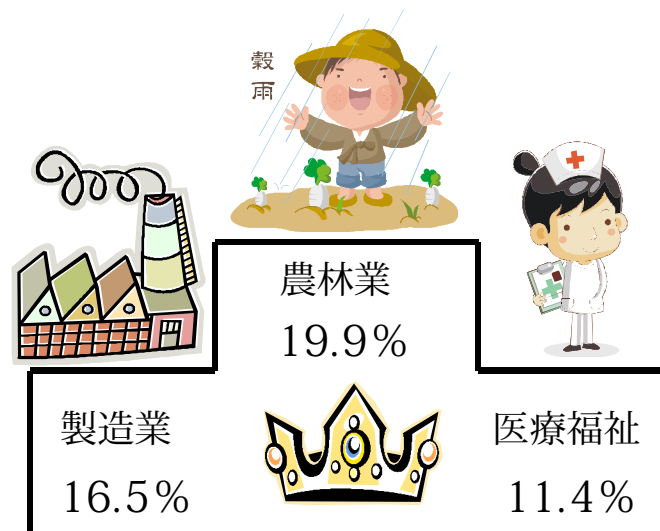
多世代同居世帯



独居世帯、2人世帯

問3&4 あなたの職業と勤務地は？

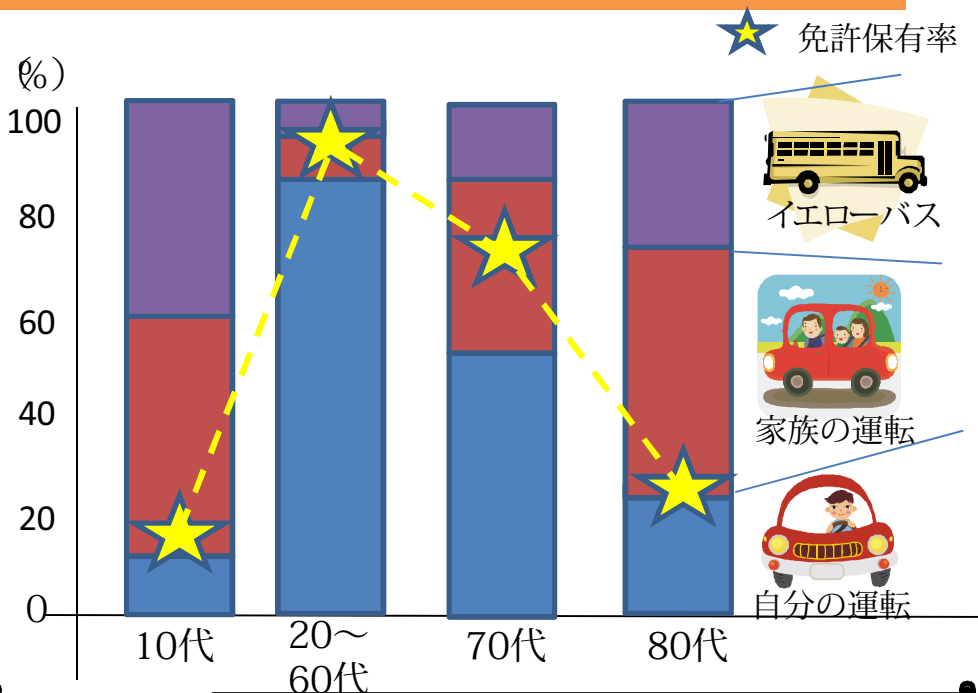
- 農業 (19.9%)、製造業(16.5%)、医療福祉 (11.4%)に従事されている方が半数を占めます。
- 広瀬町内に勤務されている方が約半数となっています。
- 20~50代の方の多くが、安来市外に勤務されています。



上山佐地区の暮らし

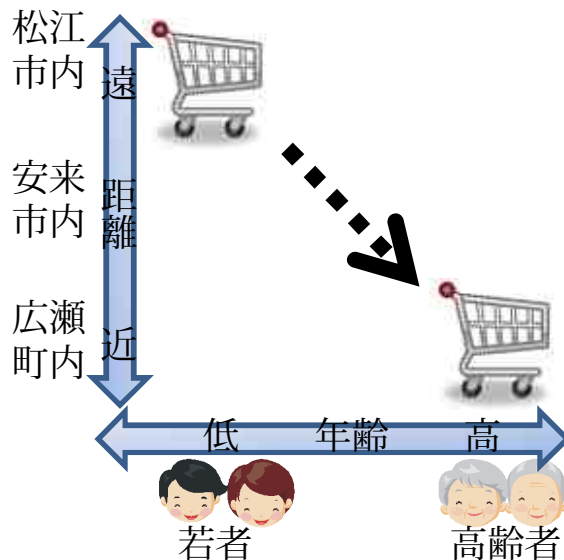
問6 日常の交通手段は何ですか？

- 20～60代の方の多くは、自家用車の利用が約9割にのぼります。
- 免許を保有していない方は、家族の運転やイエローバスを利用される方が多いようです。
- 免許保有率は、70代を境に急速に低下し、80代では26%になります。



問7 主な買い物先は？

- 年齢を重ねるにつれて、近隣商店の利用が多くなる傾向にあります。
- 免許を保有していない方は、家族の運転やイエローバスを利用される方が多いようです。



問8 主に受診する医療機関は？

- すべての年代で近隣の医療機関を受診する方が多いようです。
- 勤務地が遠方になるほど、遠方の医療機関に受診する割合が高くなります。



病院

上山佐地区の暮らし

問9 地域内のつきあい頻度について

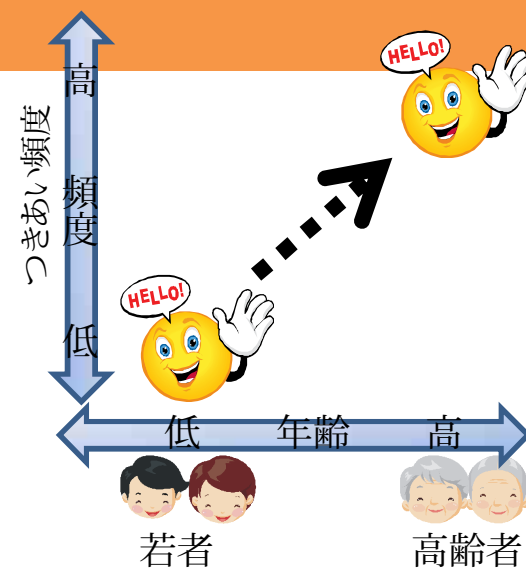
- 年齢を重ねるにつれて、地域内のつきあい頻度が高くなります。
- 若年層、特に20代では、地域とのつきあい頻度が低い傾向にあります。
- 独居世帯または広瀬町内に勤務する方は、地域内のつきあい頻度が高い傾向にあります。

問10 地域内のつきあい内容について

- 60代以降、年齢を重ねることにお茶に誘うという方が多くなる傾向にあります。
- 男性は自治会の行事、女性はお茶に誘うと回答された方が多い傾向にあります。

問11 暮らしの悩みや心配ごと

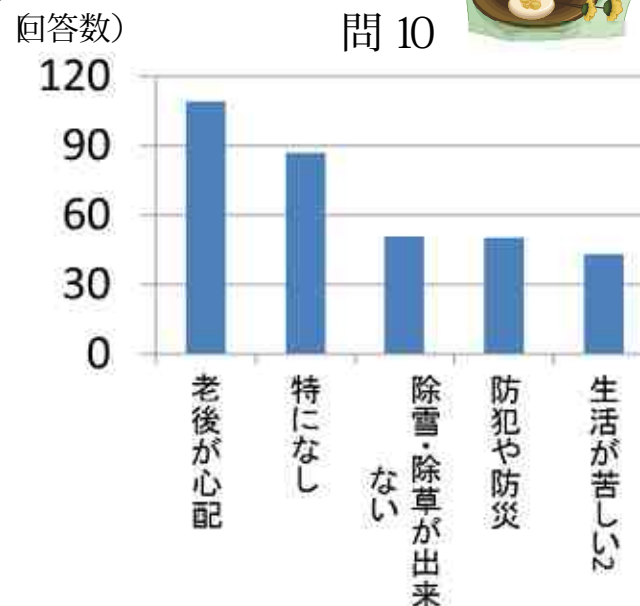
- 多くの年代で、老後が心配と回答された方が多いです。
- 若年層、高齢者層で除草や除雪が出来ないという悩みが多いです。
- 防犯や防災に関する悩みが全体の約25%を占めています。
- 独居世帯では、集落のつきあいが出来ないことに不安を抱えています。



女性・高齢者にお茶に誘う方が多い！



問10



上山佐地区の子育て

問12 地域で安心して子育てをするために何が必要か？

全体

- 預かりサービスの充実 (51%)、家庭環境づくり (46%)、地域ぐるみの子育て環境 (46%) の順で回答が得られました。



10代の若者

● 遊べる環境づくり!!



20~40代
子育て世代

● 預かりサービスの充実。
● 家庭環境づくり。
● 地域ぐるみの環境づくり。

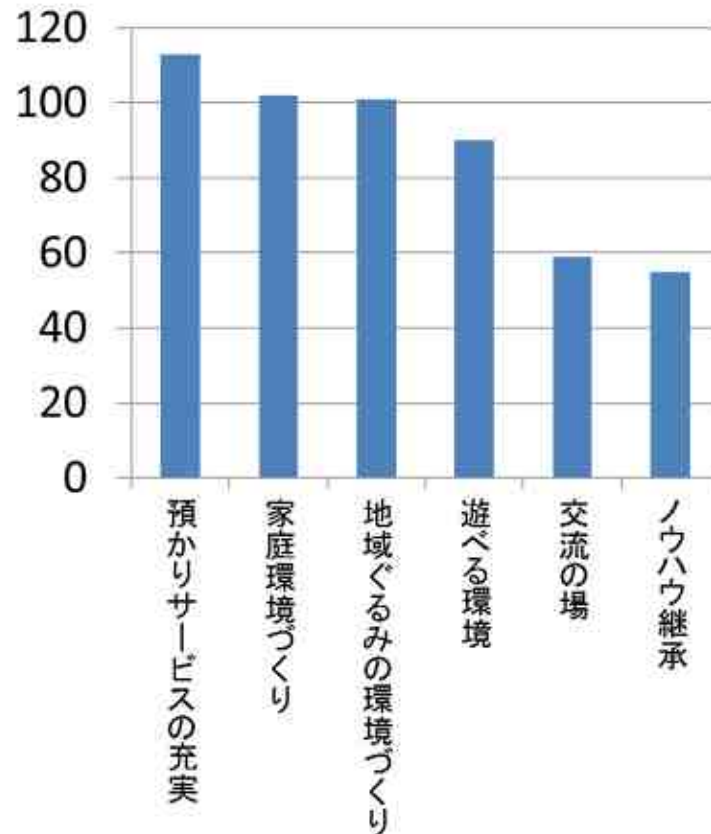


60~80代以上
ベテラン世代

● ノウハウ継承の仕組み。

問 12

(回答数)

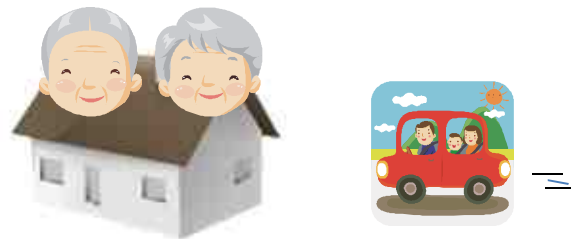


上山佐地区の福祉

問13 近親者の訪問頻度（独居または65歳のみ世帯への質問）

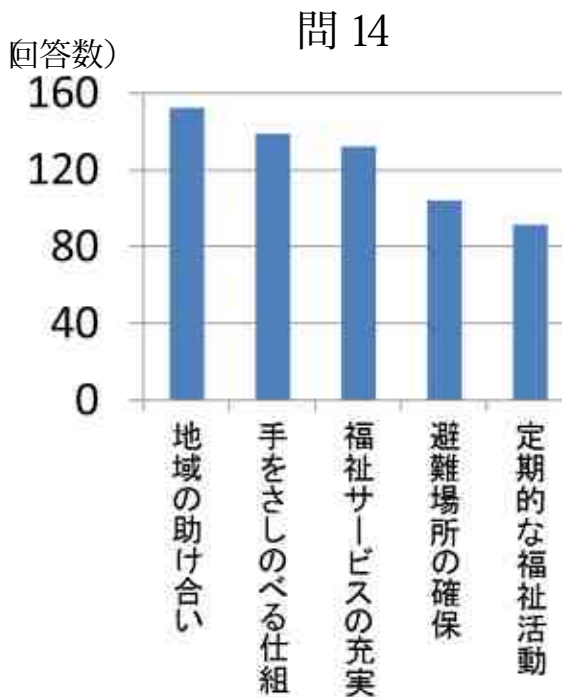
- 年齢を重ねるにつれて、近親者の訪問頻度が増える傾向にあります。
- 70代では、近親者の訪問頻度が「半年に1回」より少ない方が4割いらっしゃいます。
- 独居世帯では、「週に1回以上」が約3割。「月1回」が約4割となっています。

近親者が安心を支えている



問14 だれもが安心して暮らせるまちづくりに必要なこと。

- 全体、世代別共に地域の助け合いの項目が圧倒的に多いです。
- 地域の助け合いを基盤として、防災や福祉の充実に取り組むという意見が聞かれました。



問 15 災害に備えて特に必要なこと。

- 避難経路・場所の確保、水・食料の備蓄、安否確認方法の確認の順で高い結果となりました。
- 80代以上の方は、安否確認方法の確認が高いです。
- 防災については、家庭や個人、自治会、地域の役割があるのではないのでしょうか。

上山佐地区の農林業

問16 農地に関する悩みは？

全体

- 農業所得の減少、農地の荒廃、長期間耕作してない農地の順で高い結果となりました。



農林業従事者

- 機械の更新や所得の減少といった経営に関する悩みが多い。

- 特に30代で農業機械の更新や維持が出来ないと回答された方が多い。



機械の更新

問17 農業が活性化するためには？

全体

- 集落営農の推進 農作業機械の共同化、農作業受託組織をつくる、集落営農を進める)と回答された方が多いです。

- 集落営農の推進 (50%)
- 鳥獣被害の防止 (18%)
- 基盤整備による区画整理 (13%)



農林業従事者

問18 山林の現状や心配ごとは？

- 60代以下では、所有地や境界が不明と回答された方が半数を占めます。
- 管理の委託や自ら山林を管理する意向の方は全体の約20%でした。
- 10～20代では、わからないと回答された方が多くいらっしゃいます。
- 男性のほうが、森林を管理する意向が高いようです。



上山佐地区の地域づくり

問19 地域づくりには何が必要？

暮らし

- 定住支援の推進 (49%)。
- 安心して暮らせる仕組み (46%)。
- 地域施設の活用 (1%)

交流

- 近隣他地域との連携 (2%)。
- 都市住民との交流の場 (2%)。

産業・雇用

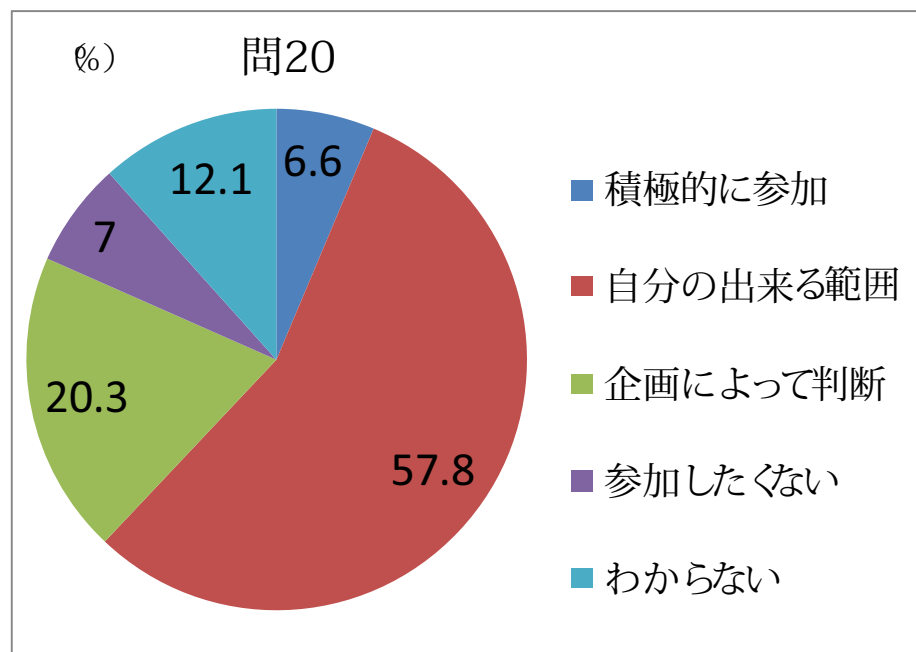
- 新しい産業の創出 (25%)。
- 農業の活性化 (13%)。



問20 地域づくり活動への参加意向

参加するという回答が80%以上 !!

- 特に30代、50代、60代で参加の意思が高い傾向があります。
- 安来市外へ勤務されている方は、企画によって判断したいという回答が多く見られました。



上山佐地区の地域づくり

問21 交流事業を伸展させるには何が必要か？

年代

- 10～20代、50代で地域の魅力の再発見。
- 30～40代で近隣都市部に対する情報発信。
- 40代、80代以上で出身者との連携強化。

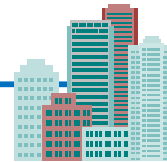


地域のなかで出来ること

- 地域の知恵や経験、文化の継承 (48%)。
- 地域の魅力の再発見 (40%)。
- おもてなし精神の充実 (22%)。

性別

- 男性：近隣住民に対する情報発信。
- 女性：おもてなし精神の充実。



地域の外に向けた取り組み

- 近隣都市部に対する情報発信 (41%)。
- 出身者との連携強化 (27%)。

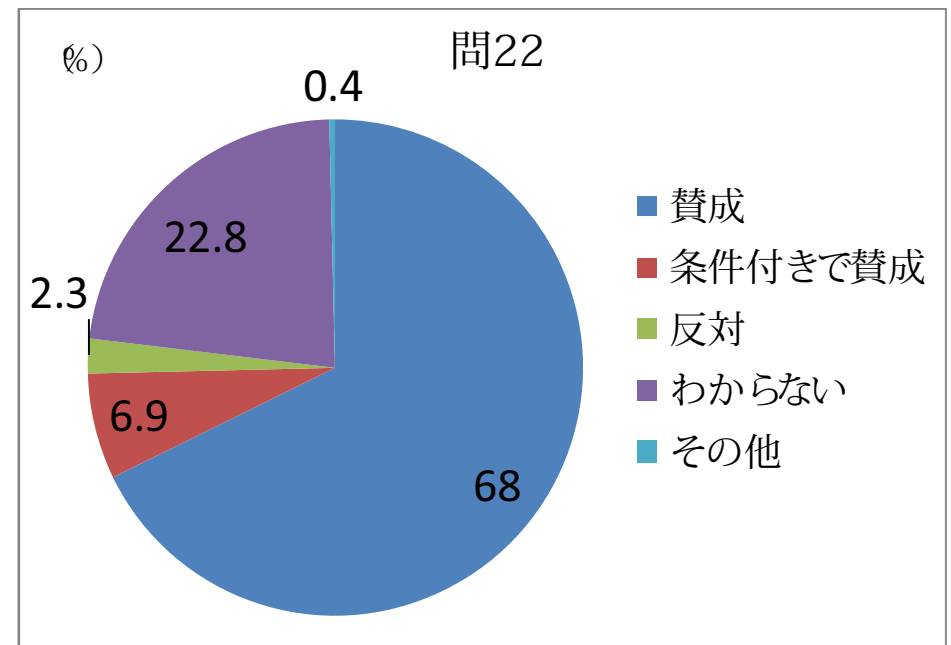
問22 U・Iターン者の受け入れについて

賛成という回答が約75%でした。

- 男性に賛成と回答された方が多い傾向にあります。
- 女性は条件付きで賛成が10%でした。

わからないと回答された方が約23%いらっしゃいました。

- 具体的にU・Iターン者が定住するというイメージが想像できないのかもしれませんが。



アンケート結果のまとめ

家族と地域

- 家族と地域のつながり
 - 世帯人数が多く、多世代同居が多い【問2】
 - 独居高齢者は近親者や地域とのつながりが強いです【問9&13】

一方、こんな声も・・・

- 独居高齢者は地域とのつきあいが出来なくなることを悩んでいます【問11】
- 若年層や市外へ通勤されている方は、地域内のつきあい頻度が低い傾向にあります【問9】

生活や暮らし

- 暮らしの安心
 - 近隣の商店や医療機関を利用できる【問7&8】
 - 家族や公共交通機関に支えられている【問6】
 - 地域の助け合いに期待しています【問14】

一方、こんな声も・・・

- 地域の助け合いを基盤とし、防災や福祉に取り組むことに期待しています【問19】
- 世代によって、子育てや暮らしの悩みが異なっています【問11&12】

農林業と環境

- 農林業の現状について
 - 農地や耕作放棄地の悩み【問16】
 - 農業所得の減少や機械維持などの農業経営の悩み【問16】
 - 山林は所有地や境界が不明【問18】

一方、こんな声も・・・

- 農業の活性化による地域づくりに期待【問19】
- 集落営農の推進に期待する【問17】
- 約20%の方が山林を管理していく意向です【問18】

地域づくり

- 地域で支える取り組み
 - 地域や出身者の協力が期待できる【問20】
 - 定住支援や安心して暮らせる仕組みづくりに関心が高いです【問21】
 - 情報発信や交流事業に関心が高い【問19&21】

一方、こんな声も・・・

- 「企画によって」自分の出来る範囲」で参加を希望する方が多い【問20】
- 世代やライフスタイルによって地域づくりに対する意見が異なります【問20&21】

